町内でクリスマスを楽しむ

巨大クリスマスツリー展示
クリスマス会

思わず見上げるほどの大きさ

笑顔でプレゼントを受け取る園児

食後は皆で楽しく遊びました

昨年12月、町内各地で、クリスマスにちなんだ行事が実施されました。

弟子屈郵便局（藤原将男局長）のお客様ロビーには、9日から24日にかけて、高さ2ｍ50㎝の巨大クリスマスツリーが展示されました。このツリーは、今井林業㈱（西村良雄代表取締役）から20年以上にわたり地域貢献の一環として贈られているもので、同郵便局では、1年間の感謝の気持ちを込め職員が飾りつけを行いました。

21日には、認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）のクリスマス会が同園で開催されました。同園を訪れたサンタクロースに園児たちが歌「あわてんぼうのサンタクロース」を踊りと共に披露。サンタさんからは園児一人ひとりにプレゼントが手渡され、園児たちは大きな声でお礼を伝えました。

待合室「みちくさ」（小林壽男会長）が実施している地域食堂「キッチン・みちくさ」では、25日に福祉センターでクリスマス会を開催。地域の方や、にこにこクラブの児童11人が訪れ、クリスマスの特別メニューを味わいました。弟子屈高校（濵村隆康校長）2年生8人もボランティアで参加し、調理などの手伝いのほか、宝探しを企画するなど、会場を盛り上げました。ポッカサッポロフード&ビバレッジ㈱からクリスマスプレゼントも贈られ、参加した皆さんは笑顔で帰っていきました。

町の話題 CT CloseUp Topics

QRコードから町公式ユーチューブチャンネルでもご覧いただけます。

大人としての第一歩に祝福

第１回弟子屈町二十歳（はたち）のつどい

記念品を受け取る秋山有志さん

記念品を受け取る佐藤穂香さん

交通安全宣言を行う阿部優輝さん

全員で記念撮影

町教育委員会主催の第1回弟子屈町二十歳のつどいが、1月9日、摩周観光文化センターで開催されました。

民法の改正により、4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられることから、当町の成人式は「二十歳のつどい」に名称を変更し、これまで通り年度内に20歳になる方を対象として式典が行われます。

今年、町内で20歳を迎えたのは40人。式典には町外からの参加者も含め43人が参加しました。参加者を代表して、髙橋真人さんと古川南さんが「常に向上心を持ち、後輩たちの手本となり、地域に貢献していきたい」と誓いの言葉を読み上げたほか、阿部優輝さんが弟子屈警察署の井元秀樹署長に交通安全宣言を行い、交通ルールを厳守すると誓いました。

式典終了後は、ユースフルネットワークてしかが（今井慎也会長）主催の祝賀会が開催され、出席者の皆さんは豪華な景品が用意された抽選会や、久しぶりに会う友人との交流などを楽しんでいました。

12月９日

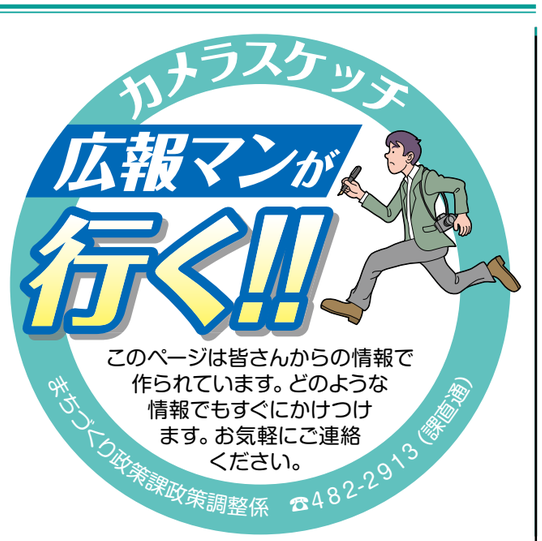
長年にわたり統計調査の実施に貢献
舘 定勝・昭子さんご夫婦が総務大臣表彰を受賞

賞状を手に定勝さんと昭子さん

町内在住の舘定勝さん、昭子さんご夫妻が、令和３年度統計功績者総務大臣表彰を受賞し、12月９日、役場で伝達式が行われました。

総務省が実施する国勢調査に複数回従事し、他の従事者の模範となったことから、総務大臣から表彰されたもの。これまでに定勝さんは指導員として４回、昭子さんは調査員として３回、指導員として５回同調査に従事しています。

式では、徳永町長から表彰状と副賞が手渡されました。お２人は「長年従事し、たくさんの町民の方と話すことができました」とこれまでを振り返りました。



12月16日

12月の恒例行事
認定こども園ましゅうで餅つき大会を開催

一生懸命に餅をつく園児たち

認定こども園ましゅう（鈴木幸榮園長）の餅つき大会が12月16日、同園で行われました。

餅つきは、お正月を前に毎年行われていますが、今年も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、消毒とマスクの着用が徹底され、例年より小さな臼ときねが使用されました。園児たちは順番に「よいしょ、よいしょ」という元気な掛け声に合わせ、計２キロの餅をつきました。園児から「楽しかった。もっと餅をつきたい」などの声もあり、楽しい餅つき大会となりました。ついた餅は、園の鏡餅として飾られました。

12月10日

卒業記念に特別な作品を
摩周焼きの体験実習を実施｜弟子屈中学校

指導も受けながら楽しく作業

第21回摩周焼体験学習が12月10日、弟子屈中学校（成瀬剛慈校長）体育館で行われました。

中学３年生の卒業記念作品の制作として毎年行われています。今年は弟子屈中学校の生徒39人と川湯中学校の生徒３人が体験。初回から講師を務める摩周焼窯元（森雅子代表）のスタッフの方々の指導の下、丁寧に制作しました。時にはスタッフの方に手伝ってもらったりしながらも、世界に一つだけの作品を作りあげました。作品は森さんの窯で焼き上げられ、後日生徒たちの手元に届けられます。作品は後日、町公民館でも展示される予定です。

1月１日

新年をお祝い
道の駅「摩周温泉」でお正月イベントを開催

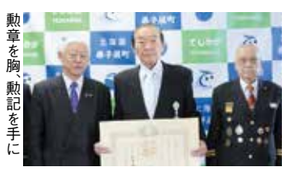
新年の運試しを

道の駅「摩周温泉」で１月１日、恒例の新春感謝祭が行われました。

新春感謝祭は、摩周観光交流館直売会の主催により道の駅リニューアルオープンから毎年行われていましたが、昨年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止されたことから、２年ぶりの開催となりました。町内の方など100人以上が来場しました。館内では来場者に紅白餅のプレゼントや、直売会特製の福袋が販売されました。地場産特産品や直売所の人気商品が当たるガラポン抽選会も開催され、来場者の皆さんは、お正月気分を満喫していました。

12月24日

消防力の充実・強化に貢献
令和３年秋の叙勲（消防功労）伝達式を開催


勲章を胸、勲記を手に

令和３年秋の叙勲（消防功労）の叙勲を町内在住の柴﨑一彦さんが受章し、その伝達式が12月24日、役場で行われました。

この叙勲は、長年にわたり消防力の強化・充実に尽力され、消防の発展に寄与された方に授与されるもの。柴﨑さんは、昭和52年に川湯消防団に入団し、平成31年から川湯消防団分団長に就任。令和元年６月まで消防任務の遂行と後進の指導にあたりました。この間41年にわたり、地域住民の生命・財産を守り続けた功績が認められ、瑞宝単光章を受章しました。式では徳永町長から勲記と勲章が伝達され、柴﨑さんは「地域の皆さんの協力があってこそです」と述べていました。